

# TOYOYAMA GIKAI DAYORI

題字は林照月さんの作品です

# とよやま

TOPICS-p4

## ▶40周年記念事業

新年度予算 可決 .....	2~ 3
中学校武道の必修は剣道に .....	7
9人が一般質問 .....	5~13
議会視察報告 .....	15
友遊悠 .....	16

No.120  
議会だより  
3月定例会

発行：愛知県豊山町議会  
平成24年5月1日

野外体験学習スキー教室(豊山中学校)

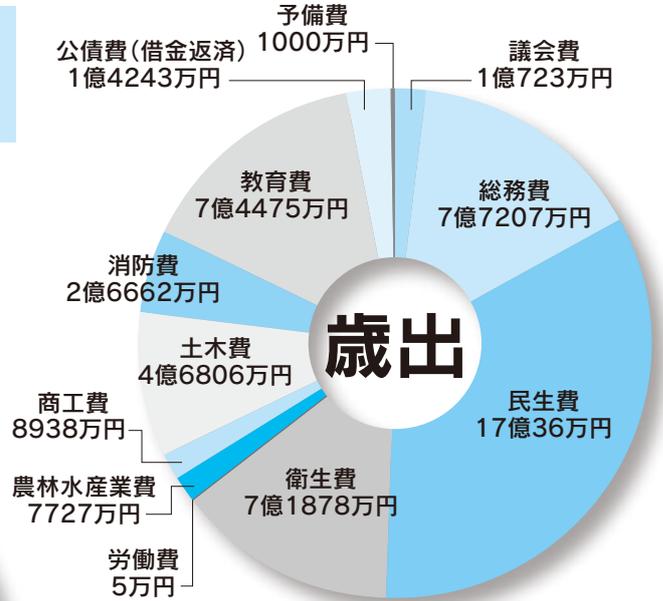
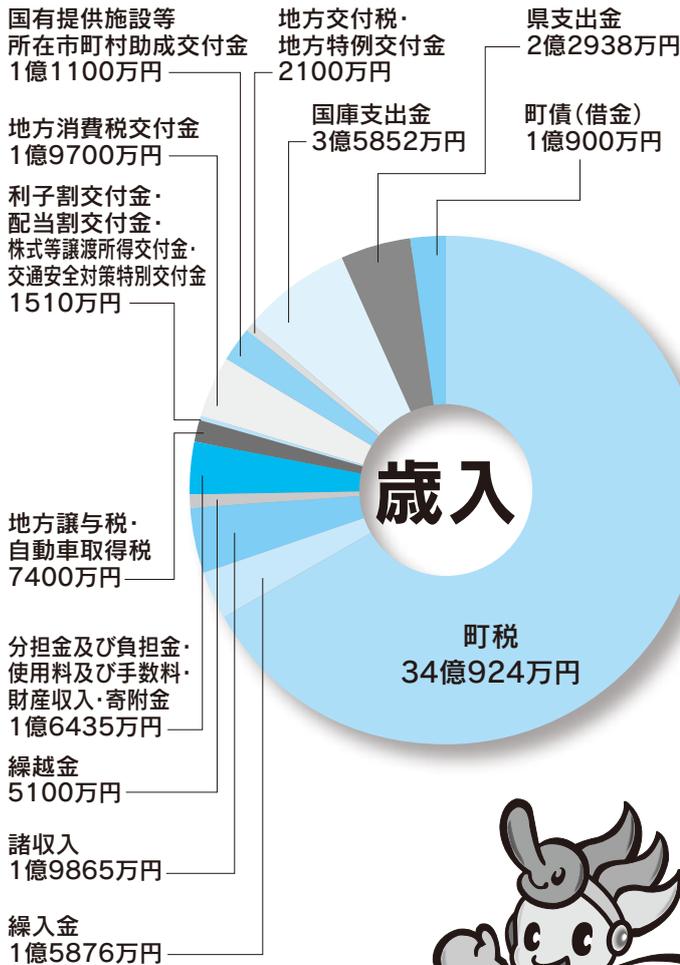


平成  
24年度

# 一般会計予算 可決

減額はすれど、学校設備に重点配分

予算総額は、50億9千700万円  
(前年対比 7千900万円減(1.5%))



### 主な事業

◎町制40周年記念事業	1360万円
◎大山川堤防道路設計委託料	320万円
◎新栄小学校太陽光発電設置工事	4540万円
◎新栄・志水小学校扇風機設置工事	1460万円
◎給食センター改修工事	1170万円
◎公債費(借金返済)	1億4240万円



地空人くん



### 審議結果(予算関係)

議案	予算額	審議結果
平成24年度国民健康保険特別会計予算	14億2170万円	全員賛成▶可決
平成24年度後期高齢者医療特別会計予算	1億3816万円	賛成10反対1▶可決
平成24年度介護保険特別会計予算	7億1973万円	賛成10反対1▶可決
平成24年度介護サービス事業特別会計予算	158万円	全員賛成▶可決
平成24年度公共下水道事業特別会計予算	6億7626万円	全員賛成▶可決

## その他の審議結果

議案	審議結果
専決処分の承認	全員賛成▶承認
工事請負変更契約	全員賛成▶可決
副町長の選任	全員賛成▶同意
人権擁護委員候補者の推薦	全員賛成▶同意
住民基本台帳法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理	全員賛成▶可決
暴力団排除条例の制定	全員賛成▶可決
平成24年度における固定資産税等に係る第1期の納期の特例に関する条例の制定	全員賛成▶可決
精神障害者医療費支給条例の制定	賛成10/反対1▶可決
指定地域密着型サービス等の事業の人員等に関する基準を定める条例の制定	全員賛成▶可決
子ども福祉手当支給条例の制定	賛成10/反対1▶可決
心身障害者手当支給条例の制定	賛成10/反対1▶可決
公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の改正	全員賛成▶可決
議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の改正	全員賛成▶可決
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の改正	全員賛成▶可決
特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の改正	全員賛成▶可決
教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の改正	全員賛成▶可決
税条例の改正	賛成10/反対1▶可決
国民健康保険税条例の改正	全員賛成▶可決
母子家庭等医療費支給条例の改正	賛成10/反対1▶可決
障害者医療費支給条例の改正	全員賛成▶可決
介護保険条例の改正	賛成10/反対1▶可決
町営住宅条例の改正	全員賛成▶可決
養老福祉年金支給条例の廃止	全員賛成▶可決
市町村職員退職手当組合格約の変更	全員賛成▶可決
後期高齢者医療広域連合規約の変更	全員賛成▶可決
一般会計補正予算(第5号)	全員賛成▶可決
国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	全員賛成▶可決
後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	全員賛成▶可決
介護保険特別会計補正予算(第3号)	全員賛成▶可決
公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	全員賛成▶可決

### 反対討論 野崎 隆子議員

愛知で唯一入院食事給付を実施している豊山町は、継続すべき。また、お年寄りの敬老祝金、高齢者日常生活支援事業を縮小することに何の意味があるのか。住民の暮らし、福祉、安全を守ることが自治体の仕事。予算案の町長の目玉は、扶助費の1事業の廃止と所得制限や6事業の縮小、削減である。町長は、有識者懇談会のあいさつでも、インフラ整備を強調し、公共工事費用捻出のための、弱者切り捨てではないかと懸念し、反対する。

### 賛成討論 今村 一正議員

第4次総合計画に基づいた予算を組み、住民サービスの低下を最小限に抑えたと認識する。JAXAの稼働、MRJプロジェクトの進展、航空宇宙産業形成特区指定、FDA路線拡大など希望の持てる状況の中、町制40周年の施策が随所に見られる。教育、文化、福祉、環境、防災等の全てのジャンルで、ハード・ソフト面のきめ細かな予算が組まれた。厳しい財政の中、最少資源と財源で最大の福祉政策を取り入れており、賛成する。

# トピックス

## 住民と共に歩んだ40年を祝う

昭和47年4月1日の町制施行以来、本年で40周年を迎える。  
その記念事業の概要と予算総額を報告する。

記念事業	事業概要
記念式典	一般及び自治功労者を表彰する
南極観測隊 講演会	数度にわたり、南極観測を行っている豊山中学校出身の戸田 茂氏(愛知教育大学准教授)による講演会を実施する
MRJ&JAXA見学会	JAXA拠点・三菱重工業小牧南工場の施設見学
宇宙学校	JAXAが主催する宇宙をテーマにした講演会を開催する
星空観測会	本町在住のアウトドアタレント鉄崎 幹人氏による星空観測会を実施する
なんでも鑑定団	なんでも鑑定団の出張鑑定を実施する
NHK公開番組	Eテレ(NHK)全国放送 「ハートネットTV 公開すこやか長寿」の公開録画
FDAチャリティコンサート	FDAいわて花巻便を活用し、岩手県を拠点とする四重奏による東日本大震災チャリティコンサートを開催する
宇宙飛行士講演会	宇宙飛行士を招き、宇宙体験、地球の美しさ、生命の尊さについての講演
30周年で町のマスコットキャラクターとした「地空人くん」の着ぐるみを作成	記念式典でお披露目。以後、町のイベントに活用する
予算総額	1,360万円



現在の庁舎

町制施行時の庁舎



旧庁舎

Q・都市計画マスタープランの前進を

A・継続して調査、情報収集をする 安藤 春一 議員



**Q**

住民参加のワーキングショップと官学連携を試みた「豊山町マスタープラン」は画期的と、評価されている。10年後（平成32年）には評価が真価となることを願い、質問する。

航空宇宙産業を主とした先端産業を呼び込む神明地区は、「総合特区」の指定区域外にある。税制を始め様々な支援措置が受けられない中、空港関連企業をどのような形で受け入れ

ていくのか。道筋をつけるための調査、情報収集は進展しているか。中道の振興地区は支援施設とアクセス道路計画が示されている。支援施設とは何か。見当は

高添地区は工業地、公共公益施設の受け皿とのこと。22年3月議会、工業系アレルギーもあり、地域の理解を得る手法を検討との答弁。併せて尋ねる。

**A**

神明地区は、県営名古屋空港、三菱重工小牧南工場、JAXA飛行研究拠点に接し、地理的に航空宇宙関連産業の集積に好立地である。したがって、町都市計画マスター

プランでは産業立地誘導地区と位置づけた。

現状、農地として土地利用が図られており、一朝一夕に工業的な土地利用への転換は困難と考えている。また、基礎的な調査、情報収集は今後も継続する。

中道地区は既存の大規模集客施設の賑わいを増進させるための地域振興関連地区と位置づけている。広域的な集客と一層のにぎわいの創出には、土地利用転換と施設の再配置等が必要と考える。例示すると、既存の施設と一体化した広域的交流拠点施設と都市的インフラが考えられる。現時点では具体的な計画はない。



工業的な土地利用への転換は困難

高添地区の開発規制については、限定的に開発が許されており、その行為に規制を加えることはできない。仮に規制を加えるとするならば、土地所有者等の総意による申し出が

必要である。高添地区の土地利用の検討状況は、新たな公共施設計画等を持っていないことから、具体的な検討に入っていない。

今村 一正 議員

## Q・レセプト電子データの活用で 国保医療費適正化を

## A・資料を収集し適正化に努める



**Q**

国保医療費適正化に向け、レセプト電子データを活用した取り組みが全国的に開始され、効果をあげている。本町の取り組みについて次の点を聞く。

**Q**

国保医療費の適正化に向けた差額通知は、国の状況から見合わせた。  
②重複・頻回受診者の把握はしている。が、適正受診訪問の実施段階までには至っていない。

**Q**

業務継続計画  
(BCP)の策定予定は

A・策定に着手する

**Q**

昨年末に実施した、職員研修の成果報告と今後の計画策定予定を聞く。

**A**

図上訓練は、かなり混乱したとの報告を受けており、業務継続計画を策定する必要があると改めて認識した。

①「希望カード」配布や「差額通知」でジェネリック医薬品の利用促進を。  
②データに基づいて「重複や頻回受診者」への正受診訪問指導を。  
③先進地の活用を研究して、範囲を広げ、医療費適正化の取り組みを。  
④今後の高齢化の進展に備えて、福祉部門の人材登用・増員を。  
⑤レセプト電子データ活用について近隣市町の取り組み状況を聞く。

③レセプト電子データの現段階での活用は、特定健診結果、がん検診精密検査後の受診状況の把握のみ。今後、先進地の事例研究し、活用の範囲の拡大に努める。  
④職員の育成をはじめ、福祉部門の適正な人材配置をする。  
⑤近隣市町での活用状況は、特定の原因疾患に対する指導を目的としている。今後は資料を収集し、住民の方々の健康増進や医療費の抑制につながる取り組みを進める。

**A**

①基準日を9月1日とする国民健康保険被保険者証カード化での更新に合わせて、「ジェネリック医薬品希望カード」を1世代に1枚ずつ配布する。



レセプト点検中

(その他の質問)  
介護支援ボランティア  
アポイント制度

三連動地震発生を想定した県の被害予測調査との整合性を図りながら、本町の地域防災計画の抜本的な見直しを行うとともに業務継続計画の策定にも着手していく。全庁的な取り組みが必要なため、策定までに2か年ほどかかる。

## Q・武道の安全対策は大丈夫か

### A・日頃から心がけ、対策を講じる

Q

新年度から中学校の教科に柔道、剣道等の武道が必修になるようだ。豊山中では従来体育の時間に剣道が少し取り入れられていたと思う。武道が必修となると指導者の問題、施設の問題等の準備も大変だと思う。それに伴う予算は大丈夫か。中学生の頃は、人生の中で心身共に最も大きく成長する大切な時である。心身を鍛える一番良い時期で日本

A

武道の心得も必要だろう。私は、質実剛健、剛毅木訥の精神を養う意味からも一時期柔道を経験し心配であるので尋ねる。

柔道が必修であれば投げる者の注意も重要だが、まずは受け身を十分に。武道の必修開始時期、その種目、男女別、指導者、設備、怪我の対応、そして一番大切な事前の安全対策は。

A

平成24年度から新学習指導要領が全面実施となり、新しい学習指導要領に基づき実質的に武道が必修となる。

豊山中学校では平成21年度から全学年において男女共、剣道を必修としており、引き続き剣道を履修させる。

体育館内の武道場には、防具と竹刀を必要人数分を備えている。安全対策については迅速な対応が取れるよう日頃から心がけると共に、指導方法・技能等の習得には県主催の体育実技研修会等に参加させるなどの対策を講じる。



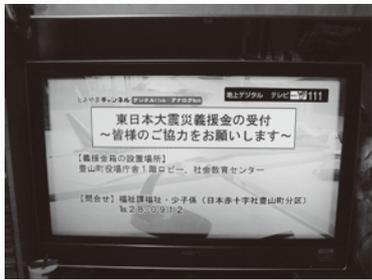
いざ出陣！

栗田 昌子 議員



Q・議会議中継、CATVに代わるものは

A・現時点では考えていない



CATVの議会議中継は中止

**Q** 議会議中継は、第4次総合計画で目標としている「広報・広聴の充実」に逆行している。CATVに代わる有効な手段を検討しているか。

**A** ケーブルテレビでの議会議中継は、議会改革検討会議で検討され、議会の意志として中止と決定されたところである。町としては、こうした議会側の意志決定を踏まえ、本年度より中止としたところである。したがって、現時点において、ケーブルテレビに代わる議会議中継については、考えていない。

Q・国際交流や人材育成について、町長の考えを問う

A・自治体主導の交流事業は行わない

**Q** ①人材育成のため実施した海外派遣を中止するにあたり、どのような検証、どのような評価があったか。

②10人ずつ18年間、合計180人を派遣した。人材の掘り起こしはしたか。  
③中学生海外派遣事業を再検討し実施方法を工夫して再開するつもりはないか。  
④一般町民の派遣はどうか。JAXAやMRJなど、世界規模で夢を与えてくれる研究所や航空産業がある。海外に友好都市を作るくらいの意気込みで、町を拓いて頂きたいがどうか。

**A** 平成21年度にインフルエンザの世界的な大流行をきっかけに中止を決めた。

①検証には、参加者のアンケート結果により「外国に対する興味や関心が高まった」「異文化との交流を経験し、視野を広げることができた」などの回答が多数あり、一定の成果を得たものと判断した。  
②公募の形を取ること、意欲ある人材の掘り起こしを図り、報告会や広報を通して活用した。  
③平成22年、23年度に実施したスキー体験研修が、生徒・保護者から高評を得ていることから、中学生海外派遣事業は

今後再開しない。  
④国際化に関しては、学校教育において語学学習や国際理解を推進すると共に、多言語による生活の案内パンフレット配布などを通じ、グローバルな視点をもった人材育成や在外国人の方が過ごしやすいまちづくりに努めてきた。

近年、国際交流が人々の暮らしの中で日常になりつつある状況の中で、あえて自治体为主导して特定の国と交流事業を行うことは考えていない。

# Q・交通弱者のための公共交通対策を

## A・24年度の制度設計を目指す



**Q** 交通弱者、高齢者、特に通院されている高齢者が利用しやすい公共交通、医療機関を主ルートとした循環バスの制度設計及び早期運行を求める。

また、循環バスは広域交通ともかかわりがある。広域交通について、町の考えを問う。

高齢者が必要とする目的地・時間帯のアンケート調査を求める。アンケート調査結果では、デマンドバス対応

も考えられる。

高齢に伴い自動車免許を返上し自転車へ、自転車から徒歩へと安全策を講じている方々も多いと思う。

交通弱者の切実な声はなかなか行政には届かない。届いてはいるが形になつてこないのが現状ではないか。高齢者、交通弱者のための公共交通の早期実現を求める。

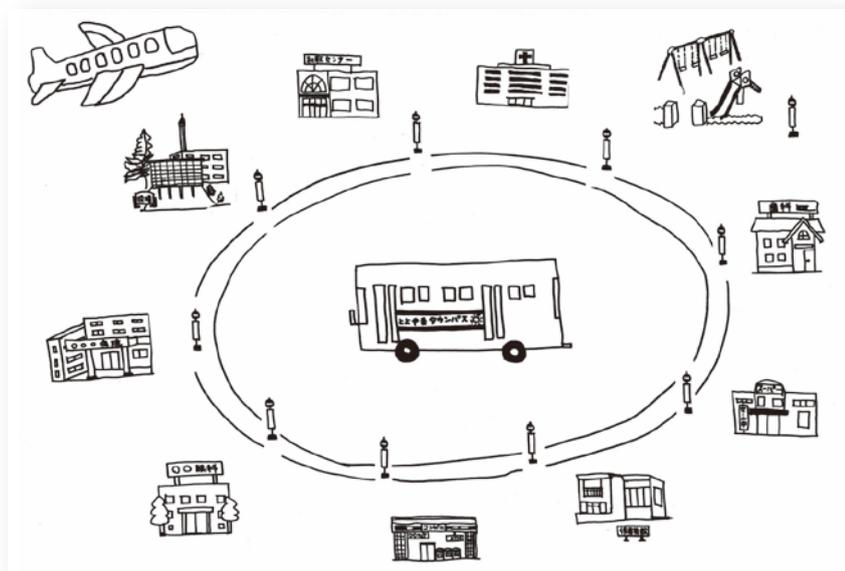
**A** 高齢者や障がい者の外出支援策

については、既存タクシーの活用、社会福祉協議会との連携、デマンド運行と併せて、24年度に検討を行う。検討にあたっては、グループ

インタビューを実施する。利用者の声をできるかぎり汲み取るように努める。

地域公共交通会議には、高齢者・福祉代表者も委員として参加されていることから、学識経験者やバス運行业者と一緒に、議論を深めていく。

広域交通については、近隣自治体や関係者との情報交換を密にしながら、地域全体の公共交通がよりよいものになるように、研究を行っていく。



みんなにやさしい循環バス

岩村 みゆき 議員



Q・予防医療に力を入れ医療費の抑制を

A・それぞれの部門で取り組む

**Q** 高齢化がどんどん進んでいる中、

22年度の国民健康保険の保険給付費が、9億6千9百万円となった。

前年度と比べ、約1億円の増加である。高額医療の原因疾患となる「がん」対策、病気の重症化を防ぐワクチン接種、生活習慣病の予防など、予防医療に力を入れるべきだと考える。そこで、以下の点について聞く。

① 水ぼうそう、おたふく、

ロタウイルスワクチン接種を助成する考えはあるか。

② 24年度、特定検診及びがん検診日の拡大は、

③ 成人を含めた食育キャンペーンを行ってはどうか。

④ 社教センター健康トレーニング機器の有効活用を。

⑤ 各種助成制度の広報の強化を。

**A**

① 厚生科学審議会感染症分科会

予防接種部会で、ヒブ、小児肺炎球菌、水痘、おたふくかせ、子宮頸がん、B型肝炎及び成人肺炎球菌の7疾病について予防接種法での類型が了承された。しかし、

まだ任意接種の段階であるため、国の接種助成制度の確立をまつて、町の助成の可否を判断する。

② 特定健診受診日は、10月の検診期間中に土曜日を1日増やす。

本年度より指定医療機関として西春日井地区内の42病院に拡大したことから、今後、大腸・肺・乳がん・子宮がん・前立腺がんの5検診は、個別検診による特定健診と同時受診ができる。

③ 食生活改善推進員養成講座を開催し、推進員の増加を図ることにより、成人への食育活動の推進に取り組む。

④ 社会教育センターのトレーニングジムの利用周知は、窓口での利

用案内と、町のホームページの活用にも努める。

⑤ 各種助成制度・サービスマニュアルは「くらしの便利帳」の充実や広報掲載により行う。



## Q・国有地の現状と利用は

### A・取得希望があつた時点で判断する

**Q** 町内における国有地、いわゆる赤道・青道は、平成12年度から平成14年度にかけて、国から町に譲渡されていると聞いている。現状はどのようなようになっているか。

今まで、国から農地として借り受け、苗田として利用していた方が都合により、国に返されたとも聞いている。国に返された土地が東部供用施設の隣のことだが、東部供用施設

は利用者が多い時やごみ集積所としての利用等もあり、駐車場が足りない時も多々ある。その土地を国より買受け、駐車場として活用してはどうか。

今後、その他の国有地及び赤道・青道の処理をどのようにしていくのか。

**A** 赤道・青道については平成12年4月1日施行の地方分権一括法において国から譲与されることが決まり、平成12年度から平成14年度の3年間で国から無償譲与されている。

この赤道の譲渡申請は平成22年と23年にそれぞれ各1件あり、合計2件の譲渡を完了している。

国から譲与された赤道などを町が積極的に譲渡を進める考えはなく、譲渡希望者から申請が提出された段階で判断していく。

国から譲与された赤道などを町が積極的に譲渡を進める考えはなく、譲渡希望者から申請が提出された段階で判断していく。

今後、町に優先的に、この農地の取得希望の照会があるので、その時点で取得の判断をしたと考えている。

既に国へ返還された国有地



既に国へ返還された国有地

尾野 康雄 議員

## Q・消防水利の標識は全箇所

## A・40口径には、設置する考えはない



**Q** 町内の防火水槽の設置場所には、標識板が、道路上の消火栓の黄色の囲い文字表示がなされている。20年程前からの防火水槽の設置場所には標識板のないところもある。昨年の大地震後、防災意識が高まっている。より住民の意識を高めるためにも、離れた所からも確認できる標識板の設置を全箇所必要と考える。

**A** 消火栓には標識の設置義務はないが、消防署や消防団が、火災時に水利の場所をすぐに特定できるように、消防水利の基準に適合する防火水槽や65口径の消火栓に標識を設置している。

消防水利の基準に適合しない40口径の水利は、基本的に近隣住民の方が使うものと考えており、消火栓の蓋への黄色の標示で場所が特定

できるので、標識を設置する考えはない。

## Q・屋外照明にソーラーパネルを

## A・改修の時点で検討する

**Q** 公共施設の屋外照明全般にソーラーパネル、風力発電付の照明に変更することを提案する。

大きな工口も重要だが、最も身近で簡単な工口の普及で、経費の節約を実行することが大事と考える。また、名鉄バス停留所同様、タウンバス停留所時刻表のソーラーパネル設置は、防犯にもつながると考える。

**A** 公共施設の省エネルギー対策としては、防犯灯のLED化と新築小学校への太陽光パネルの設置を行う。他の施設に

ついては、改修が必要になった時点において、導入についての検討を行う。タウンバス停留所へのソーラーパネル設置は、当該停留所があおい交通の占有物である。従って、町はその判断をすべき立場にはない。



基準に適合した防火水槽に設置された標識



Q・どうする老朽化した給食センター

A・改修計画は、財政状況を見ながら判断

**Q** 昭和53年建設、築34年を経過している。

建物もボイラーなどの設備も毎年修理が必要。雨漏りも始まり、24年度大屋根の改修も予定されている。

衛生面から調理場のドライ化問題、耐震診断や耐震工事の内容と今後の改修計画などの町の方針を尋ねる。

**A** 給食センターは、昭和53年にウエット方式により建築した。ドライ方式を導入するまでは、ドライ仕様の調理器具の使用や作業方法を工夫するなどドライ運用による調理作業を継続する。

改修計画等は、建築後34年が経過しているため修繕箇所は多くなると思われるが、当面は修繕により対処としていく。改修計画は、財政状況を見ながら判断していく。

Q・県の福祉医療  
見直し方針の撤回を求めよ

A・県との協議の場で意見を言う

**Q** 県が「行革大綱に係る重点改革プログラム素案」を示し、福祉医療の改悪を検討する準備に入った。

県の補助が削減されれば、補助金とともに

推進している子ども・障害者・母子家庭等・後期高齢者などの福祉医療に重大な影響を及ぼす。

県に方針撤回を求めると。

**A** 昨年12月に、県は「行革大綱に係る重点改革プログラム」を公表し、高齢化の進行、医療の高度化等に伴い、医療費の増加が予測される。限られた財源の中で持続可能な制度としていくための「福祉医療制度の見直し」の検討に取り組む。

県の見直しに係る工程表では、平成24年度に市町村との協議・調整の場が設けられる。その際には町としての意見を申し述べる。

(その他の質問)

水道・衛生組合等の町長・議員の報酬問題



おいしい給食を作るセンター

# 追跡

## 1年前の あの質問

## どうなった あの答弁

定例会での一般質問が、1年後どのように反映されたかを追跡！  
今回は、昨年3月定例会の中から選んでみた。

### ジェネリック医薬品促進に 「希望カード」の発行を

国保医療費抑制のため、「希望カード」を発行してジェネリック医薬品の利用促進を進めてはどうか？

### 答弁

### 「希望カード」発行・配布に ついて検討

国保医療費抑制のために全国で発行され始めている。発行や配布について前向きに検討を開始する

### どうなった

### 24年度9月に、世帯に1枚 ずつ発行・配布する

24年度9月に国保の被保険者証を更新カード化する。あわせて「希望カード」を世帯に1枚ずつ配布する

### タウンバスに学割を導入して 学生の利用に便宜を

タウンバスは学生の利用が少ない。学割や定期券等の制度を導入して、学生の便宜を計ってはどうか？

### 答弁

### 総合連携計画を踏まえ慎重 に進めていく

現在、地域交通総合連携計画を策定中。その中で通学定期券の導入も検討している。様々な状況に留意して、慎重に進める

### どうなった

### 通学定期券等の導入に伴う 課題を研究中

積み残しや車両の大型化など、通学に対応した課題を、調査検討中である

### どうする？ 県営名古屋空港活性化

JAL全線撤退後、FDAのみの就航となる。今後の利用拡大にむけての活性化策はどのように考えているか？

### 答弁

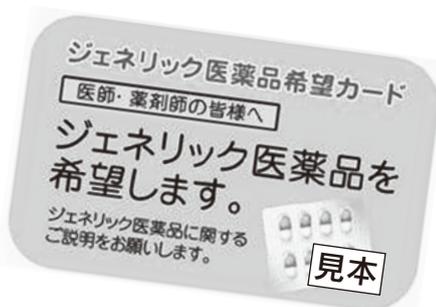
### 空港利用促進のため助成 制度を新設

町民の利用を促進するため「利用促進助成制度」を新設し、旅行やビジネスでの利用拡大を図っていく

### どうなった

### 5路線・12便に拡大 利用者数も大幅増加

平成24年3月から新潟線が新たに就航。花巻・青森線が2往復に増便。助成制度も浸透して、利用者数増加



# 議会視察報告

## 本格稼動したJAXAを視察

4月11日JAXA(宇宙航空研究開発機構)及びMRJ(三菱リージョナルジェット)を視察した。

この2月に、公募で「飛翔」と決定した実験用ジェット機が到着。

航空技術開発には、FTB(実験用航空機)を使つての飛行実証が必要。

この実験はMRJ開発にも貢献する。



## やさしさとゆとりの空間「平安の里」を視察

3月29日、青山行を始め9人が特別養護施設老人ホーム「平安の里」を視察した。明るい色に包まれたお洒落な建物(4階建)は、いかにも人にやさしい造りだと直感した。

定員96名(現在豊山町から5名)で、4月5日から入居開始とのこと。四季の自然と親しむ目的の屋上庭園からは、南に302号、東は名岐バイパス・名古屋高速16号を眺め、緑豊かな田園風景が迫ってくる。実に素晴らしい環境にある。

入居者の憩いの場でもある食堂はキッチンアイランドを備え、杉材のフロアーが家庭的な雰囲気漂わせている。共同生活スペース(廊下など)も同じ仕様。快適な寝浴バスは、電動式で移動がスムーズに調節できる。入浴者本人は無論、介護する職員の負担も軽減する工夫が見られる。トイレも当然、機能的・衛生的な最新のものが完備されている。

施設全体を通して、全く閉塞感がない。日当たりや明かりを巧みに生かし、やさしさとゆとりの空間を随所に採り入れている。細部にわたって配慮がよく行き届いている。

スタッフが、給食のシミュレーションの最中であつた。その真剣で熱い光景をみて、安心した。働く職員一人ひとりの礼儀正しくさわやかな対応に接し、何よりうれしく感動した。



### 定例会のあらまし

会期:3月5日(月)~23日(金)

5日(月)本会議(議案上程、説明)	12日(月)一般質問
13日(火)本会議(議案質疑)	15日(木)福祉建設委員会
19日(月)総務文教委員会	23日(金)本会議(委員会報告、討論、採決)

## ソフトボール



増田 昌司

### 老いも若きも楽しく参加

豊山町ソフトボール協会は体育協会の傘下にあつて、県協会の主催する競技のソフトボールに積極的に参加しております。町内においては、春秋のトーナメントを始め、リーグ戦を開催しています。小学生から女性、高齢者まで参加できるレクリエーションであり母子ソフトボールは人気種目です。

今後もソフトボールの普及に取り組んでまいります。事業所等の参加も大歓迎です。



## 囲碁・将棋

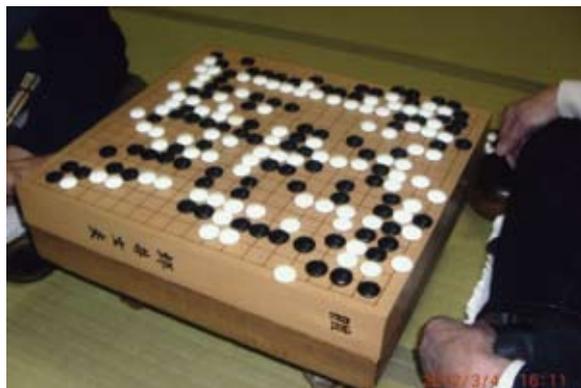
平手 康晴

### 文化協会創立40周年の記念式典で受賞

毎週日曜日の午後、東部供用施設に高齢者が集まり、囲碁を打っています。

囲碁ルールは極めて簡単で自由な発想により、相手との調和やバランスを考えながら行う高齢化社会にふさわしい趣味です。また、相手との実力差があってもハンディをもらうことにより対等に勝負できます。

将棋部はありませんが、子ども広場将棋教室を土曜日の午前に月2回行っています。参加希望の方はお問い合わせください。お待ちしております。



### 議会広報編集委員

- 委員長 ▶ 粟田 昌子
- 副委員長 ▶ 今村 一正
- 委員 ▶ 水野 晃・坪井 武成  
安藤 春一

### 議会の傍聴に来てください

次回の定例会は、6月4日(月)午前9時30分開会予定  
(一般質問 6月11日(月)午前9時30分予定)  
町のホームページから会議録がご覧いただけます。

[町議会](#) をクリック [www.town.toyoyama.lg.jp/](http://www.town.toyoyama.lg.jp/)